

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

障害とアフリカ開発 -地域社会への包摂に向けて-

国際協力機構（JICA）は、8月30日、JICA 横浜にて、認定 NPO 法人 DPI（障害者インターナショナル）日本会議との共催により、サイドイベントを開催しました。「障害とアフリカ開発」をテーマに、ムッサ・チワウラ南部アフリカ障害者連合（SAFOD）事務局長をはじめとするアフリカの障害者リーダーを迎え、誰も取り残されない社会の実現について議論した本イベントには、障害者団体、NGO、民間企業、学术界などから 100 名を超える参加がありました。

まず始めに、JICA 佐久間人間開発部長より JICA の障害分野の取り組み方針と障害者が開発の主体となる重要性について紹介されました。続いて「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABE イニシアティブ）」で初の障害がある長期研修員として来日したズキスワ・ンゾ氏、また草の根技術協力事業「アクセシブルなまちづくりを通じた障害者自立生活センターの能力構築」プロジェクトマネージャーである DPI 日本会議の宮本氏から、JICA と連携した取り組みの報告がありました。

基調講演ではムッサ氏が自立生活実現のためにはまず障害当事者団体が SDGs 達成のために力を付けること、すべての人がインクルーシブな社会の実現に向けて個々の違いと多様性の価値を受け入れることの重要性を訴えました。その後、ムッサ SAFOD 事務局長のファシリテーションのもと、JICA 課題別研修「アフリカ地域障害者のエンパワメントを通じた自立生活促進」の研修員 3 名がそれぞれの出身国での経験を共有するパネルディスカッションを行いました。

最後に DPI 日本会議の平野みどり議長から閉会の挨拶があり、アフリカの障害者が地域で自立して生活するための実践がますます前進することへの期待が示されました。

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】

-佐久間潤 JICA 人間開発部長

【発表者】

- Mussa Chiwaula 南部アフリカ障害者連合（SAFOD）事務局長
- Zukiswa Nzo JICA アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）研修員
- 宮本泰輔 認定NPO 法人 DPI（障害者インターナショナル）日本会議プロジェクトマネージャー

【パネリスト】

- 課題別研修「アフリカ地域障害者のエンパワメントを通じた自立生活促進」研修員
- Henry Sipho Dlamini スワジランド障害者団体連盟（FODSWA）統括団体代表
 - Helen Ogochukwu Madubuobi ナイジェリア政府女性省リハビリテーション部ソーシャルワーカー
 - Moussa Thiare セネガル障害者団体連盟（FSAPH）書記局長

【閉会挨拶】

- 平野みどり 認定NPO 法人 DPI 日本会議（障害者インターナショナル）議長

■写真





(左) 基調講演者のムッサ・チワワカ氏 (右) パネルディスカッションの様子

■ 関連する SDGs ゴール :

